



博士大学院生との対話 研究者の卵の道を選んだ理由

難治疾患研究所では、医学部、薬学部、理学部、工学部、農学部出身のプロの研究者（教授、准教授、講師、助教、ポスドク）に加えて、研究者の卵である大学院生（博士と修士課程）も多数います。彼らが日本の将来の医学研究を担います。

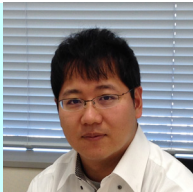
本プログラムでは難治疾患研究所の大学院生と対話する機会を設けました。何故、医学研究者の卵の道を選んだのか？将来どのような医学研究者になりたいのか？を語ってもらい、高校生の皆さんの参考になることを期待しています。

医学の基礎研究をするというキャリアパスがどんなものか、ちょっと覗いてみませんか？

会場 3号館3階 医学科講義室2

開催時間 10:20～11:20（途中参加可）

7月26日
（木）



石川 俊平
（ゲノム病理学分野 教授）

東京大学医学部医学科卒業
東京大学大学院医学系研究科修了

研究テーマ
「がんのゲノミクス、バイオインフォマティクス」



阿部 桂子
（生体情報薬理学分野 大学院生）

東北大学歯学部卒業
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程在学中

研究テーマ
「圧負荷に対するメカノセンサーとしての Pannexin1 の役割の解明」



加藤 智起
（幹細胞医学分野 大学院生）

東京大学薬学部薬学科卒業
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程在学中

研究テーマ
「毛包幹細胞・色素幹細胞システムをモデルとした老化メカニズムの解明」

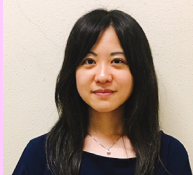
7月27日
（金）



古川 哲史
（生体情報薬理学分野 教授）

東京医科歯科大学医学部卒業
東京医科歯科大学大学院医学系研究科修了

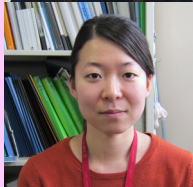
研究テーマ
「不整脈のオーダーメイド医療、心疾患の遺伝子治療の基礎研究」



安部 有紀
（免疫疾患分野 大学院生）

高崎健康福祉大学薬学部薬学科卒業
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程在学中

研究テーマ
「Bリンパ球活性化における活性酸素種の役割」



遠藤 葉月
（病態細胞生物学分野 大学院生）

北里大学医療衛生学部卒業
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科修士課程修了
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科博士課程在学中

研究テーマ
「アポトーシス非依存的な新規アノキス機構の解明」